

# 当院のインフルエンザ検査の流れ

当院では患者さんの検査の苦痛の軽減、待ち時間の短縮を目指し、AI画像診断機器を導入しています。  
高熱や咳、喉の痛みなどインフルエンザが心配な場合は、診察時に鼻から綿棒を挿入する検体採取なしで検査を受けていただけます。  
※新型コロナの検査が必要な場合には、従来通り鼻腔からの検体採取が必要となります。

## <検査の流れ>

- ①問診に記入をいただき、医師がまず診察を行います。
- ②患者さんに口を開けていただき、「Nodoca」で喉の奥の写真の撮影を行います。  
撮影時間は5秒ほどになります。
- ③事前の問診の内容と画像を元にAIが診断を行います。



## <通常の検査との比較>

	Nodoca	抗原検査
検査方法	喉の画像の撮影	鼻に綿棒を挿入して検体採取
検査時間	40秒 検査後の再診察なし	10～15分 検体採取後の再診察あり
自己負担額 3割負担の場合	約900円(検査料) ※診察料などは除く	約900円(検査料) ※診察料などは除く

## <注意事項>

「Nodoca」の対象年齢は6歳以上となり、6歳未満の患者さんや喉の診察が苦手な方には使用をしません。  
また従来の鼻の奥の方を綿棒で擦っての検査である抗原検査も行っております。